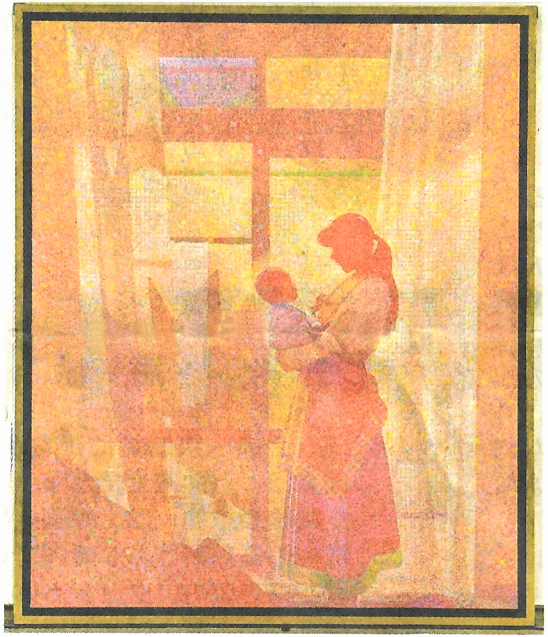
熊谷さん 日展都知事賞

崇城大教授 洋画部門 点描の母子像

熊谷有展さん



東京都知事賞を受賞した
「Orange Symphony」

国立新美術館（東京）で開かれている改組新第4回日展で、崇城大芸術学部教授の洋画家熊谷有展さん（51）＝熊本市＝の油彩「Orange Symphony」が、洋画部門の東京都知事賞に選ばれた。

東京都知事賞は、最高賞の内閣総理大臣賞に次ぐ賞。受賞作品は130号の点描画。光の差し込む室内に浮かんだ母親と赤ちゃんの柔らかなシルエットを、赤や青、黄などの小さな点を無数に重ねて描いている。

審査員からは「点描で光と空間を新鮮な感覚で表現している。母子の親密な様子や、室内の合理的な処理が清潔な詩情を画面にもたらしている」と評価された。

熊谷さんは長男誕生をきっかけに、23年前から妻と子どもをモデルに母子像を描いている。7、8年前からは、パレットに出した絵の具の美しさをそのまま表そうと、点描に取り組んできた。受賞作品は3年がかりで描き、途中に個展で初めて制作を公開した。

熊谷さんは、母子像について「人間のコミュニケーションの原点と考えている。公開制作で自分をさらけ出して勇気が出た。評価されてうれしい。ライフワークとして描き続けたい」と話している。

改組新第4回日展は12月10日まで。

（中原功一朗）

2017年11月11日　熊本日日新聞　P.26